

7月20日(火)

畠山 信行・藤原 久美子の

「二人展」が河北新報社 朝刊「文化面」に掲載されました。

河北新報

7月20日(火)

河北新報社
〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋一丁目2-28
TEL: 022-721-6234 FAX: 022-721-6236

「来」は、未来



電話 022-214
記者相談室 1117
号外 2120 11 2108
7月20日(火) 2103
5月1日(土) 2100
11月1日(土) 2100
2018年(2018) 21-111
印刷所 仙台印刷局
022-02-3345

仙台市のNPO法人「東北の造形作家を支援する会」理兼員の藤原久美子さんと同郷の畠山信行さんの2人の二人展が仙台市青葉区五橋一丁目2-28の「来」で開催されている。東北の風景や人物を描く畠山さんの作品が、藤原さんの作品で発表された。畠山さんの作品は、東北の風景や人物を描く。藤原さんの作品は、東北の風景や人物を描く。畠山さんの作品は、東北の風景や人物を描く。藤原さんの作品は、東北の風景や人物を描く。

受け継がれる「命」表現

仙台 藤原、畠山さんが2人展

描いている。仙台芸術研究所を主宰する藤原久美子さんと、同郷の畠山信行さんが、2人の二人展を開催している。東北の風景や人物を描く畠山さんの作品が、藤原さんの作品で発表された。畠山さんの作品は、東北の風景や人物を描く。藤原さんの作品は、東北の風景や人物を描く。畠山さんの作品は、東北の風景や人物を描く。藤原さんの作品は、東北の風景や人物を描く。



藤原さんの「岩手山麓の夕暮」



畠山さんの「Innondou」

私たちの想い。

絵画は人の心を癒してくれたり、勇気を与えてくれたりする日常生活の“オアシス”です。画家を志し、作品を創作する作家は少なくないのですが、その作品を皆さんに見ていただく「発表の場」には決して恵まれていないのが現状です。私たちはそのような作家の作品を広く市民の皆様に見ていただく機会を作り、微力ではありますが、芸術文化の輪を少しでも広げていきたいと考えています。個展の開催、東京での企画展出展への支援など、東北にゆかりのある画家が羽ばたき、東北の文化の向上に少しでも寄与できれば...、それが私たちの願いです。

■問い合わせ先■

NPO法人●東北の造形作家を支援する会

〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋一丁目2-28

株式会社河北新報社 別館4階

TEL: 022-721-6234 FAX: 022-721-6236

<http://www.soat.jp/>

Eメール head@soat.jp



「SOAT ソアト」(「東北の造形作家を支援する会」)は、Supporting Organization for Artists of Tohokuの略称です。